

日本におけるデジタル化の状況

G584922025 望月 遥斗

2025 年 7 月 7 日

1 デジタル競争力ランキング

国際経営開発研究所（IMD）の調査 [1] によると、日本のデジタル競争力のランキングは図 1 に示すように調査対象の 64 カ国中、総合で 28 位、技術分野で 30 位となっている。

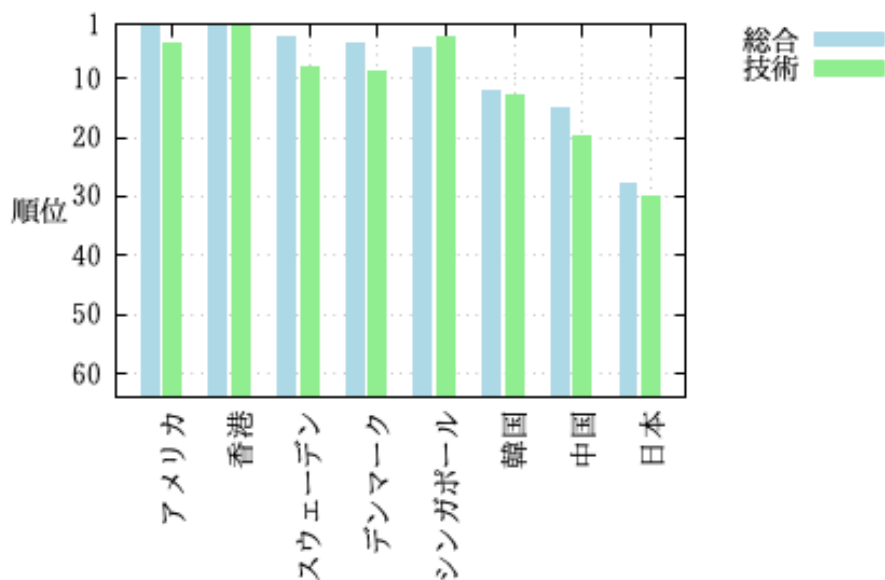


図 1: デジタル競争力ランキング（64 カ国中）

2 ブロードバンドの整備状況

OECD によるブロードバンド回線の普及に関する調査 [2] によると、表 1 に示すように、日本における 100 人あたりの光ファイバー回線の加入者数は 29.0 で、韓国、ノルウェー、スウェーデンに続いて第 4 位である。

表 1: 光ファイバー回線の加入者数（100 人あたり）

順位	国名	加入者数 (%)
1 位	韓国	38.2
2 位	スウェーデン	31.9
3 位	ノルウェー	29.5
4 位	日本	29.0
5 位	アイスランド	28.8
6 位	スペイン	27.3
7 位	ポルトガル	25.1
8 位	ニュージーランド	23.6
9 位	リトアニア	23.3
10 位	フランス	21.2

3 考察

- 加入者のパーセントの差が 1 位と 2 位だけ大きい
- 日本技術力高そうなのに総合 28 位、技術分野 30 位と思ったより低い
- 日本はデジタル競争力が低いのに光ファイバー加入者が多いことから人材とかほかの理由がありそう
- デンマークも競争力が高いが光ファイバー加入率が低い

このことから国々の競争力と光ファイバー加入率は比例関係がないことが分かった。デジタル競争力を上げるために必要なのは光ファイバーではなく、資源の多さや、人材の多さが絡んでくると思う。

参考文献

- [1] IMD. IMD world digital competitiveness ranking. <https://www.imd.org/centers/world-competitiveness-center/rankings/world-digital-competitiveness/>, 2021.
- [2] OECD. Broadband Portal. <https://www.oecd.org/digital/broadband/broadband-statistics/>, 2022.